

昭和18年、農家の娘の農作業日記

岐阜地区・河野久子さんの日記

河野久子さんは、山田広子さん（中央町）の5歳年上のお姉さん。
日記は、雑誌『少女俱樂部』付録の「少女手帖」に日々の農作業を中心にメモのよつに
残したものの。戦時下の昭和18年、農家の手伝いをしていた17歳の女性が綴った記録です。

■4月

3日

神武天皇祭

8日（風）

大詔奉戴日、午前6時半から常会。

9時から青年学校の閉校式、12時から入営の米山さんを送る。

9日（風）

針仕事をすする。

昭和18年の貯蓄目標額

*青年団 貯金30円 債権25円

*少年団 債権5円 貯金10円

ウサギは1人1匹以上

貯金は3月までで41円30銭

10日（風）

馬草切りをする。

11日（曇り）

餅つき、手がやし。（注：岐阜県の言葉で「餅つきの手返し」か？）

美幌の姉さんが泊まった。

12日（雨）

常呂青年学校開校式

13日（午前雪・午後晴れ）

今日は風前に洗濯。午後から縫い物をする。

林修一さんのところのお爺さんの法要。

15日（曇り）

家の中のことをする。14日に姉さんが帰った。

16日（晴れ）

午後、針仕事をすする。

17日（晴れ）

針仕事。

- 18日(晴れ)
針仕事。
- 19日(晴れ)
針仕事。
- 20日(曇り)
母はお寺参り。針仕事をする。
- 21日(午前曇り・午後雪)
お寺参り。針仕事をする。兄は監視硝勤務。
- 22日(雪)
土佐の関谷さんからミシンを借りてくる。
- 23日(曇り)
ミシンを使う。
- 24日(晴れ)
靖国神社の臨時大祭。ミシンを使う。
- 25日(晴れ)
ミシンを使った。
倉の屋根直しを手伝った。
- 26日(晴れ)
馬草切り。午後ミシンを使った。
- 27日(晴れ)
兄の監視硝勤務日。ミシン使いをする。
- 28日(晴れ)
古館さんが召集されて3時発にて出発した。
- 29日(晴れ)
天長節。午前6時より神社清掃。
7時より青年団の入退団式。式には8時から参列した。
- 30日(曇り)
朝からミシン使いをした。

■5月

- 1日(晴れ)
午前、自分の服を仕上げた。
午後、広子のズボンを裁って縫った。
- 2日(晴れ)
午前、ミシン使い終わり。
午後、ビートの根切り。夕方、障子の張り替えをした。
- 3日(朝雨降ったが、午後晴天となった)
兄の監視硝勤務。
昼から燕麦蒔きをした。
蒸かしイモをもらって食べた。

- 4日(晴れ・小風より雨降る)
午前、家の東の燕麦蒔き終わる。
風からオタチップへ手伝いに行った。
- 5日(晴れ)
午前、ビートの根切り。風から高台の根っこ打ちをした。
- 6日(晴れ時々曇り)
高台の裸麦を蒔いた。小麦も少し蒔いた。
- 7日(晴れ・午後雨)
高台の小麦を蒔いた。
- 8日(晴れ・午後雨)
母が一番発で帯広へ行った。光雄も一緒に。
風前、家の中にいた。風から高台の根っこ打ち。
小風からビートの肥料を蒔いた。根っこ打ち、ビートの穴うめをした。
日暮れに洗濯をした。
- 9日(曇り)
午前、ビートの肥料を蒔いた。
風から政ちゃん手伝いに来た。高台に6反小麦を蒔いた。
- 10日(曇り)
ビート植えをした。
- 11日(ガス雨)
母さんたちが二時に帰ってきた。
- 12日(曇り・午後晴れ)
錦水女子青年の異本財産の落葉松を植える。松井さんの裏に午前7時、現場集合。
7時半頃仕事を始めて4時半頃に終わる。
- 13日(晴れ)
風前に裸麦の蒔き直し。
風から林さんへ小麦を蒔きに行った。
- 14日
小麦蒔きをした。
- 15日(曇り)
前の小麦蒔きをした。
- 16日(曇り)
朝から寒くて畑の仕事はできず。
私は古いオーバーで弟のスポンを縫った。
- 17日(晴れ)
小麦を1町ほど、母と弟と3人で蒔いた。
- 18日(曇り)
林さんへ燕麦蒔きに行った。
- 19日(曇り)
お寺地の燕麦蒔きに行った。政ちゃんが来てくれた。

20日(曇り)
藤吉さんが招集され、3時に出発した。
種イモ切りをした。

21日(曇り)
寺町靖正・不破行雄・山内秋雄・國枝国三さんが(招集されて)出発された。
3時発を見送った。帰ってからリンゴ畑の下のイモを母と少し蒔いた。
午前11時から5月常会があった。

22日(午前雨)
オタチップの燕麦蒔きを手伝いに行った。
昼から勅語奉戴口。

23日(晴れ)
お寺地の燕麦1町5反ほど、母と弟と蒔いて、小畑から裏の燕麦を蒔いた。

24日(晴れ)
午前、裏の燕麦蒔き。
女子青年団、5畝分のトウキビを蒔いた。
肥料 過磷酸2㍻、亜麻肥料1㍻ イモを配って歩いた。

25日(曇り)
裏の燕麦蒔きをした。小畑からイモ入れをした。

26日(雨)
針仕事をした。
開進堂の美恵ちゃんが、高橋登さんの家の赤ちゃんのお祝いを持ってきてくださった。

27日(曇り)
海軍意念日。午前8時から午後2時頃まで女子部訓練があった。常楽寺の松平さんの話が1時間半くらいあった。それが終わってから屋内運動場において女子青年体操を女子選任の今井先生から教えられた。吉田さんから銃剣術を習った。

28日(曇り)
午前、家の前のトウキビを少し蒔いた。昼から弟と奥の排水の洩の土広げをした。

29日(晴れ・午後曇り)
奥の燕麦蒔きをした。小畑から母とイナキビを蒔いた。
帯広から姉さんの写真を送ってきた。

30日(晴れ・午後曇り)
昼からトウキビ2反蒔いた。小畑から小豆選びをした。

31日(晴れ)
昼前、一人で小豆選び。昼から亀Oさんへ燕麦、トウキビ蒔きを手伝いに行った。
小畑から大豆を選んだ。これで5月も最後だ。

■ 6月

1日
午前、馬草切り。午後から川向こうの大豆蒔きをした。

- 2日(晴れ)
川向こうの大豆、小豆を蒔いた。政ちゃんが手伝いに来てくれた。
- 3日(晴れ・風)
午前、洗濯をした。
青が下水に入って助かった。
- 4日(晴れ)
小嵐から中長うすら豆を選びをした。
- 5日(晴れ)
故山本元帥の国葬。午前4時半より神社前にて暁天常会、7時まで。
嵐から林方へ手伝いに。
今月の打ち合わせは、ウサギを1戸に1頭必ず飼うこと。女子青年、5畝歩耕作の
立て札を立てること。
オタチップ、足に釘を刺した。
- 6日(晴れ)
中長うすら豆選びをした。常呂へ気のちゃんたちと芝居を見に行った。
- 7日(晴れ)
中長うすら豆を選んだ。
- 8日(晴れ)
高台の裸麦の草取りに行った。
錦水校で活動があった。
- 9日(晴れ)
裏の豆蒔きをした。
- 10日(曇り)
時の記念日。午前8時より女子教練。
午後1時より長谷川先生の時局講演があった。5時より錦水校で遊劇の練習。
- 11日(曇り時々雨)
高台の小麦の草取りをした。
- 12日(晴れ)
高台の小麦の草取りをした。
- 13日(晴れ)
春期清潔法。高台のビート、小麦の草取りをした。
下田の姉さんが遊びに来た。
- 14日(午前晴れ・午後曇り)
嵐前で高台の小麦の草取り終わった。
- 15日(晴れ)
札幌神社祭。我が校の運動愛。帯色の兄さんが来た。
- 16日(曇り・午後雨)
招魂祭。小高神社にて相撲があった。菌水初等科2頭、高等科優勝旗をもらった。
晩、オタチップで泊まった。

17日 (晴れ)

昼前、馬草切りをした。昼から前の小麦の草取りをした。

18日

前の小麦の草取りをした。

19日 (曇り・午後雨)

小昼前、小麦の中耕、5畝歩のトウキビ、畑の除草機入れ。

20日 (雨)

雨が降って外の仕事ができず、半天の継ぎや猿股の継ぎをした。

21日 (ガス雨)

イナキビの草取りをした。

22日 (ガス雨)

キビの草取りをした。前の小麦を一かえりした。

23日 (晴れ)

朝から弟と小麦の草を取った。母も昼から取った。

24日 (晴れ)

錦水青年団修練会。網走屯田集団編成のため、午前4時より16時半、錦水中隊第一小隊第二分隊の戦友(自分)申し合わせ、上官の命に従うこと。午前4時より来月の常会は15日。15日、女子教練日。

25日 (晴れ)

前の小麦の草取り終わり。小昼から東の燕麦の草取りをした。

26日 (晴れ)

朝から燕麦の草取りをした。

27日

燕麦の草取りをした。

28日 (晴れ)

燕麦の草取り。川向こうへ豆蒔き。

29日 (晴れ)

常呂の運動会。昼前一人で燕麦の草取り。昼から林方へ豆の蒔き直しに行った。帰ってから5畝歩のトウキビの草取りをする。

30日 (晴れ)

川向こうの小豆の蒔き直しや大豆の草取りをした。

■ 7月

1日 (晴れ)

川向こうの大豆の草取りをした。

2日 (晴れ)

大豆の草取り。深尾春男さん召集見送り。

3日 (晴れ時々曇り)

お寺地の燕麦草取り。

- 4日(ガス後晴れ)
燕麦の草取りをした。
- 5日(晴れ)
燕麦の草取りをした。
- 6日(春)
燕麦の草取りをした。
- 7日(晴れ)
支那事変勃発記念日。
お寺地の草取りが終わった。暑い暑い日光の下でガス草や畑の草取りだ。体がすっかり伸びたよう。これも身のため国のため。
- 8日(晴れ)
小嵐前、トウキビの草取り。小嵐から豆、燕麦の草取り。
- 9日(晴れ)
裏の燕麦の草取りをした。
- 10日(晴れ)
燕麦の草取りをした。
- 11日
裏の燕麦の草取り。
- 12日(晴れ)
裏の草取りが終わった。
- 13日(曇り)
嵐前、ビートの間引き、草取りをした。
- 14日(晴れ)
豆の草取りをした。
- 15日(曇り)
午前4時より6時半まで青年団の常会。終わってから常呂で女子青年の訓練があった。
- 16日(晴れ・午後雨)
皆で海へ行って遊んだ。芝居を観て帰った。
- 17日(晴れ時々雨)
嵐前、裏のデントコーンの草取り。嵐から奥の燕麦の草取り。
- 18日(晴れ時々雨)
嵐前、デントコーンの中耕。嵐から奥の草取り終わった。
- 19日(晴れ)
嵐前、デントコーンの草取り。嵐からイナキビの根草取り。
- 20日(晴れ)
キビの草取りをした。炎熱。
- 21日(晴れ)
川向いじの畑じり草取りをする。

- 22日 (晴れ) 川向こうの豆の除草。
- 23日 (雨) パンツの継ぎをした。
- 24日 (曇り) 川向こうの大豆の草取りが終わった。
広子が網走へ大会に行った。朝一番発、午後6時半に帰ってきた。
- 25日 (曇り) 裏の長うすら豆の草取りをした。
- 26日 (晴れ) 中長うすら豆の草取りをした。父と兄が武士の市場へ行った。
- 27日 (晴れ) 厩前、豆の草取り終わる。厩からビートの草取り。小厩から牧草積み。
- 28日 (晴れ) 亜麻引きをした。
- 29日 (晴れ) いよいよ刈りものの始まり。頑張って頑張ってやろう。
- 30日 (晴れ・午前雨) 裸麦刈りをした。
- 31日 (晴れ) 厩から高台の裸麦の残りを刈る。午後より亜麻引きをする。
亜麻引きをした。

■8月

- 1日 (晴れ) 亜麻引きをした。裸麦、3反積んだ。
- 2日 (晴れ) 午前7時より9時まで女子青年常会。3時頃から道場での相撲を観に行った。
- 3日 (晴れ) 亜麻引き。裸麦の残りを積んだ。暑かったこと。
- 4日 (晴れ・午後雨) 亜麻引き。午後雷雨、一人でぼた餅をした。
- 5日 (晴れ・厩から夕立) 小厩前、亜麻引き終わった。父・母と3人で亜麻を積んだ。今年初めて馬使いをした。
- 6日 (晴れ) 高台の小麦狩り・夕方から亜麻を積んだ。
- 7日 (晴れ) 高台の小麦刈り。小厩から那須マキさんに手伝ってもらって小麦を積んだ。

- 8日(晴れ)
大詔奉戴日。高台の小麦積み終わった。
厩前、燕麦抜き、厩から刈り。
小麦から五八で7反積み、少したってから6反積んだ。
- 9日(雨降し)
朝から雨降りで継ぎものをした。
- 10日(曇り)
午前10時より正午まで米英撃滅の村民大会があった。自分は残念にも出席できなかった。前の小麦刈りをした。
- 11日(雨・午後曇り)
継ぎものをした。小厩から小麦刈りをする。
- 12日(晴れ・午後雨が降った)
小麦刈りをした。
- 13日(午前曇り・午後大雨)
厩前、小麦刈りをした。正午より高台のビート刈りをした。
- 14日(午前ガス・午後曇り)
厩からビート刈りをした。小厩から東の燕麦刈りをした。
- 15日(午前曇り・午後晴れ)
厩前、燕麦刈り。厩より小麦を手がやして、1町3反ほど積んだ。
- 16日(晴れ)
小厩前、小麦刈りをした。日暮れから積んだ。
「寝ていても 団扇の動く 親心」
- 17日(曇り・午後雨)
北見の中学生3人が1週間援農に午前10時乗車、3時頃家に着いた。
厩前に小麦刈り、厩から小麦と燕麦を積んだ。
兄さんが軍馬を連れ、午後10時に家を出た。中佐呂間まで。
- 18日(曇り)
朝から燕麦刈りをした。1日目、中学生も朝から始まった。
- 19日(晴れ)
2日目。厩前、小麦を刈って積み終わり。厩から燕麦刈りをした。
7人揃って晩にはトランプをして愉快に過ごした。
兄さんは監視硝へ行った。
- 20日(晴れ)
3日目。林のところの燕麦刈り、厩から8人で刈った。
- 21日(晴れ)
4日目。厩前7反のところ刈り終わった。厩からお寺地へ行く。
- 22日(晴れ)
5日目。一日中すごい暑さだった。厩前お寺地を刈り、厩から家の東を積んだ。
中学生3人も厩から海へ遊びに行った。

23日(晴れ)

6日目。厩前お寺地を刈り、厩から7反のこぼしを積んだ。小厩からお寺地も積んだ。寄せてもらって自分たち頑張った。今日も朝から暑い通しだった。

24日(雨)

7日目。今日は一日雨降りで家にいた。食えることばかりにかかっていた。自分の服の継ぎをした。

25日(曇り)

8日目。最後の1日で、朝少し雨が降ったがやみ、8時頃から裏の燕麦を皆一生懸命刈ってくれた。晚には餅をついた。

26日(曇り・午後時々雨)

今日は中学の人たちが帰るので、母が弁当の支度をしていたので、9時頃畑に来た。11時で帰った。

27日(曇り)

お寺地の燕麦刈りが終わった。夕方遅くまでかかった。

28日

午前、裏の燕麦5反積む。厩より寺地燕麦積む。高橋の清二さんがお寺地の燕麦刈りを手伝ってくれた。

29日(晴れ)

裏の燕麦8反刈る。高橋清二さん来る。

30日(晴れ)

林貢さんが手伝いに来てくれた。燕麦1町2反刈った。家は4人。

31日

裏の燕麦を積んだ。家4人、清二さん、朝から母さんと積んだ。

■9月

1日(晴れ)

奥の燕麦刈り、積んだ。

2日(曇り)

午前、奥の燕麦刈り終わり、午後積んだ。イナキビ刈りをした。
午後6時、父が美幌へ行った。

3日(曇り)

小厩前、キビ刈り終わり。小厩から長つずら豆一人で引く。

4日(曇り)

父美幌より帰る。弟とつずら豆を引いた。5畝歩耕作の審査に来た。

5日(曇り)

長つずら豆積んだ。美幌の姉さんが来た。林方で泊まって6日に来た。

5日(大雨)

継ぎものをした。

7日(午前曇り・午後晴れ)

藤吉克己さんの入宮を送りに行った。記録簿の整理をした。

8日

女子青年訓練、午前8時より午後3時まで。

9日(曇り)

午後、川向こうの長つずら豆引きをした。

10日(曇り)

お寺地の草刈りをした。

11日(曇り)

午前、弟とお寺地で草刈りをした。午後、イナキビや長つずら豆を摘んだ。イナキビの中の草を刈った。雨降りになった。

12日(雨)

針仕事をした。

30日(雨)

小風から奥の草を刈った。

■10月

1日(晴れ)

今日から11号の草刈りに行った。父と母、弟と4人して三百一島の草刈るつもりでいたが、何と8しか刈れない。明日からはうんと頑張るぞ。

2日(曇り)

今日も朝から馬草刈り。

1日の分 父70 母72 久子86 護72

2日の分 父32 母71 久子86 護66

手首が大分弱ってきたらしい。頑張って働き抜こう。

3日(午前曇り・午後大雨)

草刈り 父30 母22 久子30 護27

雨に濡れて帰ってきた。午後から継ぎやら夕飯の支度をした。

4日(曇り)

午前は家のこと。午後、川向こうへ母と弟と3人で大豆刈りに行った。

5日(曇り時々雨)

大豆刈りに行った。母と2人で刈った。

6日

草刈りをした。

7日

草刈りに行った。

和子姉さんが横須賀に行った。午後6時出発にて別れた。1ヶ月も経ったが本当に夢の間だった。久子の誕生日。

8日(晴れ)

15才より25才までの男女体力章検定。午前8時より2時頃閉会。

種目 大日本女子青年体操(中級) 縄跳び20秒 重量運搬27秒

短棒投げ11メートル 千メートル速走4分10秒

式後昼食をいただき、女子青年体操の練習をして帰った。

9日(晴れ)

小嵐前草刈り。父嵐から5 兄80 久子68 護58 父が島をする。草を積んだ。

10日(晴れ)

今日で草地の刈り終わりの。小嵐まで父50 久子65 護55

奥の草地では父20 久子11 護10 刈った。

11日

イモ掘りをした。

12日 13日 14日

イモ掘りをした。

15日(晴れ)

小嵐までイモ掘り終わった。父と兄さんと3人で草地の草を積んだ。

16日(晴れ)

靖国神社の臨時大祭。午前8時より女子青年訓練。終わってから杉山巡査の見送り。

17日(曇り)

朝方、兄さんと弟と奥の草を積んだ。それから長つすじ豆と中長つすじ豆を落とした。

18日(雨)

継ぎものをした。

19日

今日から落物の始まりでオタチップへ行っただが、都合で止め、嵐前ぶらぶらした。

嵐から長つすじ豆の整理をした。

20日(曇り)

オタチップの落物。午後3時より常会、南瓜の品評会行かなかった。大きいつもりで持って行ったが上があると見えて、5等まで等に入らなかった。

21日

オタチップの落物。

22日

イモ出して落とさなかった。リンゴ畑の下のイモを掘ったり色々なことをした。

23日

オタチップの落物。

24日(曇り)

家の小麦落し。

25日(晴れ)

下の小麦、1時頃までで終わりの。高台の少しの方を落とす。

26日(曇り)

午前8時より女子訓練。

27日

高台の小麦や裸麦を入れる。

■ 11月

6日(曇り)

常呂青年学校の査閲。午前7時よりの2時頃終わる。査閲官は釧路連隊区司令官千葉少佐。別行進から学科、軍事常識優良の成績。

7日

初雪。継ぎする。

8日(曇り)

大招奉戴日。継ぎものをする。

19日 20日

お寺地の燕麦落とし。

21日

雪が降り、裏の燕麦、厩前で止め、手袋継ぎをした。

■ 12月・1月 教練予定表(常呂青年学校)

12月8日、24日 常呂校女子全学

1月1日 四方拝 各分校、午前9時より

1月5・6日 常呂校女子全学

服装整備に関し、校章・胸章の代金25銭を25日に持って行くこと

■ 3月

6日 学芸会

10日 陸軍記念日。午後1時、小関中尉の時局講話、出席せず。

5日に兄さんが丸太で怪我して、10日小林病院へ入院。荷物を持って11時で行き、林叔父さんと来てもらった。

18日 父と代わり看護に行き、宿から通えるようになったので、3時で帰り、6時に常呂着。

20日 常呂青年学校卒業式。

28日 兄が北見より退院。

■ 4月

2日 常呂青年学校入団式。午前9時半開始。自分は留守をして午前洗濯、午後継ぎものをすすぬ。